

「TAKARABUNE 2024 漕ぎ出したアートのまつり」開催要項

- 1 展覧会名：TAKARABUNE 2024 漕ぎ出したアートのまつり
- 2 会期：2024年3月27日(水)～31日(日) 各日とも10時～17時30分（ただし最終日は15時まで）
- 3 会場：埼玉県立近代美術館 地階一般展示室 1（さいたま市浦和区常盤9-30-1）
- 4 主催：SMF（サイタマミュージックフォーラム） 共催：埼玉県立近代美術館（予定）
- 5 観覧料：無料
- 6 趣旨：

SMF（サイタマミュージックフォーラム）は、2008年から2017年まで埼玉県立近代美術館が文化庁の支援を得て実行委員会形式で行ってきた事業から生まれました。SMFは、美術、音楽、ダンス、建築、文学など、様々な分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであり、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプラットフォームづくりをめざすプロジェクトでもあります。

TAKARABUNE は、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現するアンデパンダン形式の展覧会で、だれでも参加できるアートのプラットフォームをつくる活動を続けてきたSMFを象徴する企画のひとつです。本展に並んだ様々な作品やアイデアが、意外な人との出会いによって新たに動き出し、幾つもの興味深い活動がここから発生し実現されてきました。

こうした企画を通じてアートに親しむ人たちの交流が豊かになり、埼玉県のアートシーンの人と人とを結び、稔り豊かな連携が構築出来ると考えています。この事業は、社会に開かれた活動という埼玉県立近代美術館のミッションに沿うものです。みなさまのご来場ご参加をお待ちしています。
- 7 出展者：SMFメンバー、アート長屋入居者、協力アーティスト、他。総勢20～25名（組）予定（本展の趣旨に賛同していただける方なら、ジャンル、経験を問わず、どなたでも参加できます。）
- 8 出品作品：アートプロジェクトの素となる「夢のシート（エントリーシート）」やマケットに加え、関連する実作品やインスタレーション、プロジェクトの記録など、多彩な展示を想定しています。
- 9 関連事業：アーティストトーク、ワークショップ、交流会等を開催し、出展者と観客、出展者相互のコミュニケーション、意見交換を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。
- 10 記録集：各出展者の出展記録を終了後A4判2ページにまとめていただき、記録集を作成、印刷製本し出展者・関係者に配布するとともに、Web上で公開します。
- 11 問合せ：メール takarabune2024.info@artplatform.jp（三浦・中村）
TEL 090-6138-4821（三浦）、090-2143-5243（中村）／ FAX：048-885-7859（三浦）